



令和6年
9月号

学校だより

小野市立中番小学校
校長 井上 雅規

充実した二学期を～子どもたちの笑顔がいっぱい～

暦の上では立秋・処暑を過ぎましたが、まだまだ厳しい残暑の中、二学期がスタートしました。夏休み中、子どもたちの自覚とおうちの方々の手厚い支援のおかげで、大きな事故やケガ・病気もなく、中番小学校に子どもたち115名が元気に戻ってきました。始業式では、各学年代表児童が個性豊かに力強く「二学期頑張ること」を発表し、様々な学習や行事への意欲を表現しました。



そして、台風10号の影響を大変心配しましたが、5年生の自然学校も、19名全員揃って、9月2日(月)から6日(金)の5日間、プログラムを予定どおり完遂し、自立と成長の貴重な機会とすることができました。また、夏休み作品展には、たくさんの方々にご来校、ご鑑賞いただきましてありがとうございました。どれも力作ぞろいで、これまでの学習や生活をいかしながら有意義な夏休みを過ごしたことがよくうかがえました。

すでにご案内のとおり、9月18日(水)には、リオ・パラリンピック5位入賞のブラインドマラソンランナー近藤 寛子 選手をお迎えし、「あきらめない心～マラソンがくれた幸せ～」と題してご講演いただく予定です。第2部では、高学年児童に、ブラインドマラソン体験もさせていただきます。本校人権講演会ということで人権学習とともに、オリンピック・パラリンピック学習の一環として実施いたします。ウェルビーイングな学校、ひいては、ウェルビーイングな人生のための佳き機会になると思いますので、公開授業とあわせて、ぜひご来校、ご参観ください。

この二学期も、一人一人が幸せを実感し「今日も学びたい、明日も行きたい。」ウェルビーイングな中番小学校の実現に邁進してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでもやります中番小学校



“届いたよ！！ ぼくたち、わたしたちの思い”

オリンピック・パラリンピック学習の一環で、全校生で寄せ書きした日の丸を、知人がパリまで持って行ってくださり、各所で一人一人の思いが届きました。ある時は、田中 希実 選手が激走した「スタッド・ド・フランス」に、またある時は、観光地モンマルトルの丘にそびえたつ白亜の聖堂「サクレクール寺院」に在りました。競歩会場では、準々決勝と準決勝の合間に訪れておられた、レスリング女子53kg級 藤波 朱理 選手にも寄せ書き日の丸をご覧いただき、記念に写真に納まっていただくこともできました。子どもたちの思いも力となったのか、藤波選手は準決勝を勝ち上がり、翌日には決勝を制して、見事137連勝で金メダリスト・オリンピックチャンピオンとなりました。

